

みんなで育てよう！地域の宝“中河っ子”！

鯖江市中河小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	6回(のべ) 6日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	13人
授業ボランティア(含:低ボラ)	10人
登下校支援ボランティア	32人
その他(青少年健全育成協議会)	12人

(3) 特色ある活動

テーマ「心の教育の充実」

活動内容 <高年大学との交流>

本校は年間行事の中で、公民館や地域施設との交流を数多く行っている。その中に3・4年生全員による高年大学との交流事業が計画されている。高年大学とは中河地区のおじいちゃんおばちゃんが一堂に会し、各種学習会や生涯スポーツを实践する施設である。そこのお年寄りの方々とふれ合いを通して地域の伝統を学んだり、人を敬う心を養ったり、正しい言葉遣いを身につけたりすることを目的としている。

2月21日(火曜日)の午後を利用して交流することにした。総合的な学習の時間を利用して3・4年生が合同で企画を出し合い、開会式の挨拶やゲームタイムの内容、ティータイムのプレゼントなどを決定した。当日は39人のお年寄りの方が出迎えてくださり、挨拶をすませ、自己紹介の後交流(ふれあい)タイムになった。お年寄りと対戦するソフトバレーボール。トランプかるたのグループでは七並べやカルタ遊びで楽しみ、福笑い・ビー玉ころがし・ゲーム等でお年寄りと一緒に楽しい時間を過ごした。ティータイムではお年寄りから地域の誇りや伝統、今頑張っていること、小学校の勉強を頑張りなさいという励ましなど、いろいろなお話ができた。最後には、お年寄りからのプレゼントとして手品や独楽回し、歌とパフォーマンス等があり、児童はお年寄りのすごさを体感した。この交流会の目的である人を敬う心も場に応じた正しい言葉遣いも、笑顔で穏やかなお年寄りの方々と接することで、ほんの少しではあるけれど、一人ひとり身につけることができたようである。



成果と課題

3・4年合同で交流することにより、4年生はいろいろな場面でリーダー性を発揮できるようになった。また、場に応じた言葉遣いもできるようになった。

課題としては、2月という時期(お年寄り・児童の体調管理)の問題や2学年合同の時間確保の問題等があげられる。